

2025 年度第 1 四半期決算について

2025 年 7 月 31 日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本日、2025 年度第 1 四半期（2025 年 4 月 1 日～2025 年 6 月 30 日）の連結業績についてとりまとめました。

売上高は、販売電力量の減少等により、前年同期比 674 億円減の 1 兆 4,251 億円となりました。

経常損益は、販売電力量の減少による減収があったものの、燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 9 億円減の 1,012 億円の利益となりました。

また、特別損失に原子力損害賠償費 519 億円や、原子力損害賠償・廃炉等支援機構の燃料デブリ取り出し工法評価小委員会において、燃料デブリ取り出しに係る準備作業のあり方が示されたことを踏まえ、新たに見込まれる取り出し準備の作業費用等 9,030 億円を災害特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損益は、8,576 億円の損失となりました。

(単位：億円)

	当第 1 四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A－B	A／B (%)
売 上 高	14,251	14,925	△ 674	95.5
営 業 損 益	646	628	18	102.9
経 常 損 益	1,012	1,022	△ 9	99.1
特 別 損 益	△ 9,549	△ 180	△ 9,368	—
親会社株主に帰属する 四 半 期 純 損 益	△ 8,576	792	△ 9,369	—

【セグメント別の経常損益】

2025 年度第 1 四半期のセグメント別の経常損益については、以下のとおりです。

- 東京電力ホールディングス株式会社の経常損益は、子会社からの受取配当の増加などにより、前年同期比 113 億円増の 1,629 億円の利益となりました。
- 東京電力フュエル＆パワー株式会社の経常損益は、JERA における燃料費調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 6 億円増の 394 億円の利益となりました。
- 東京電力パワーグリッド株式会社の経常損益は、需給調整に係る費用が減少したことなどから、前年同期比 107 億円増の 224 億円の利益となりました。

- ・ 東京電力エナジーパートナー株式会社の経常損益は、燃料費等調整制度の期ずれ影響が好転したことなどにより、前年同期比 91 億円増の 306 億円の利益となりました。
- ・ 東京電力リニューアブルパワー株式会社の経常損益は、卸電力販売が増加したことなどにより、前年同期比 34 億円増の 235 億円の利益となりました。

(単位：億円)

	当第 1 四半期 (A)	前年同期 (B)	比 較	
			A－B	A／B (%)
経 常 損 益	1,012	1,022	△ 9	99.1
東京電力ホールディングス	1,629	1,516	113	107.5
東京電力フュエル&パワー	394	387	6	101.7
東京電力パワーグリッド	224	117	107	190.9
東京電力エナジーパートナー	306	214	91	142.9
東京電力リニューアブルパワー	235	201	34	117.3

【2025 年度業績予想】

2025 年度の業績予想については、柏崎刈羽原子力発電所の再稼働時期を見通せないことから、現時点で未定としております。今後、お示しできる状況となった段階で、お知らせいたします。

以 上

添付資料

・ [決算概要](#)

- ・ 「決算短信等」については[こちら](#)をご覧ください。
- ・ 「特別損益の計上に関するお知らせ」については[こちら](#)をご覧ください。